

【記入例・家計急変申請】

都道府県民税所得割及び区市町村民税所得割が182,500円未満の世帯
(専攻科の場合) 105,500円未満、264,500円未満かつ多子世帯

令和 8年 4月 15

変) 受給申請書

東京都国公立高等学校等奨学のための給付金事業支給要綱第3条に規定する支給対象世帯に該当するため、同要綱第12条規定の支給方法について同意し、同要綱第6条の規定により以下のとおり申請します。

保護者の氏名を記入してください。

申請者住所 (保護者等)	〒	163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1	ふりがな	とうきょう たろう
	TEL	(03) 5320 1111	申請者氏名 (保護者等)	東京 太郎
該当区分	<input type="checkbox"/> 都道府県民税所得割及び区市町村民税所得割が非課税の世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 都道府県民税所得割及び区市町村民税所得割が105,500円未満の世帯 (所得割非課税の世帯を除く。) <input type="checkbox"/> 都道府県民税所得割及び区市町村民税所得割が182,500円未満の世帯 (所得割非課税の世帯及び105,500円未満の世帯を除く。) <input type="checkbox"/> (専攻科の場合) 都道府県民税所得割及び区市町村民税所得割が105,500円未満である世帯 (非課税世帯を除く。) <input type="checkbox"/> (専攻科の場合) 都道府県民税所得割及び区市町村民税所得割が264,500円未満であり扶養する子が3人以上いる世帯 (非課税世帯及び105,500円未満である世帯を除く。) <p style="text-align: center;">該当する欄にシ点を付けてください。</p>			

【1 対象となる高校生等について】

高校生本人の氏名を記入してください

ふりがな	とうきょう いちろう	氏名	東京 一郎	生年月日	昭和 22年 10月 1日 平成
在学する学校	学校の名称	千葉県立 房総高等学校			
	学校の種類・課程・学科	高等学校 (定時制)			
	学校の所在地	千葉県	千葉県	市区町村	××1-2-3
在学期間	令和 8年 4月 1日	～	年 月 日		
過去の高等学校等における在学期間	<p>在学する学校の校長から、在学している証明と就学支援金 (旧制度・新制度) の支給を受ける資格を有する者、高校生等・新修学支援金の支給を受ける資格を有する者、専攻科の生徒への修学支援 (旧制度・新制度) 又は学び直し支援金 (旧制度・新制度) の補助対象となる者である旨の証明 (印) を受けてください。</p> <p>※4月1日までに家計が急変した世帯：令和8年4月1日 ※4月2日以降に家計が急変した世帯：家計が急変した月の翌月 (家計が急変した日が月の初日の場合は当月) の1日</p>				

【学校使用欄】

〈学校收受欄〉

收受

2026.6.15

房総

上記対象となる高校生等に記載されている者について、

令和 8年 4月 1日現在本校に在籍しており、

- 高等学校等就学支援金 (旧制度・新制度) の支給を受ける資格を有する
- 高校生等・新修学支援金の支給を受ける資格を有する
- 学び直しへの支援 (旧制度・新制度) の補助対象となる
- 専攻科の生徒への修学支援 (旧制度・新制度) の補助対象となる者であることを証明します。

学校の名称 千葉県立房総高等学校

学校長氏名 学校長 千葉 一郎

公印 印

【2 高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について】
 (次のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。)

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

①	<input checked="" type="checkbox"/>	日本国
②	<input type="checkbox"/>	日本国以外

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

(2) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

③	<input type="checkbox"/>	特別永住者						
④	<input type="checkbox"/>	永住者						
⑤	<input type="checkbox"/>	日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	(西暦)	年	月	日	
⑥	<input type="checkbox"/>	永住者の配偶者等						
⑦	<input type="checkbox"/>	定住者	在留期間(満了日)	(西暦)	年	月	日	
			日本国に永住する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり)	<input type="checkbox"/> いいえ(なし)			
⑧	<input type="checkbox"/>	家族滞在	在留期間(満了日)	(西暦)	年	月	日	
			日本国の小学校の卒業の有無等	<input type="checkbox"/> 卒業した		<input type="checkbox"/> 卒業していない		
				小学校名			所在地	都・道・府・県
			日本国の中学校の卒業の有無等	<input type="checkbox"/> 卒業した		<input type="checkbox"/> 卒業していない		
				中学校名			所在地	都・道・府・県
			日本国で就労する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり)	<input type="checkbox"/> いいえ(なし)			

【3 高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について】

(【2】(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の①～⑥のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

①	<input type="checkbox"/>	「住民票の写し(市町村の発行したもの。原本。コピー不可。)」を添付します。 ※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。
②	<input type="checkbox"/>	「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。
③	<input type="checkbox"/>	「在留カードの写し(コピー)」を添付します。
④	<input type="checkbox"/>	以下に該当するため、①～③のいずれの書類も添付しません。
	<input type="checkbox"/>	以下のすべてに該当かつ以下のいずれかに該当 ・在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合 ・在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合 ・在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校及び中学校を卒業していない等 ・令和8年3月31日以前から引き続き在学している者 ・国籍が「日本国以外」 ・「生活保護受給世帯」又は「令和8年度の住民税が非課税である世帯」

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑤⑥の資格にレ印を付けてください。)

⑤	<input type="checkbox"/>	「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。
⑥	<input type="checkbox"/>	「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。

【4 保護者等（専攻科の場合は生計維持者）の家計急変の状況について】該当する口にレ印を付けてください。

次の者の課税証明書等及び扶養親族申告書（※1）を提出します。

ア	<input checked="" type="checkbox"/>	親権者（両親）2名分 生徒が未成年（18歳未満）であり、親権者（両親）が2人存在する場合
イ	<input type="checkbox"/>	親権者1名分（親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。） ・離婚、死別等により親権者が1名の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1名の収入を証明する書類等を提出できない場合等 ・（専攻科のみ）満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合はオ又はカのいずれかの口にレ印を付けてください。
ウ	<input type="checkbox"/>	未成年後見人（ ）名分（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを有する者を除く。）
エ	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者（以下「主たる生計維持者」という。）（両親等）2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
オ	<input type="checkbox"/>	主たる生計維持者1名分 ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等
カ	<input type="checkbox"/>	高校生等本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

※1 専攻科で、都道府県民税所得割及び区市町村民税所得割が264,500円未満であり扶養する子が3人以上いる世帯に該当する場合、添付してください。

※2 申請後、家計急変の状況が解消した場合、申請書は返却し、返却後、申請書は廃棄します。

※3 専攻科の場合、「親権者」とある欄は「未成年後見人」の欄とする。（以下、同様）

証明書等を添付する者の氏名、高校生等との続柄

保護者の氏名を記入してください。

保護者が扶養する親族全員の人数を記入してください。

※控除対象配偶者も含まれます。

氏名	高校生等との続柄	扶養親族の人数	氏名	高校生等との続柄	扶養親族の人数
東京 太郎	父	3	東京 花子	母	

必ず内容を確認の上、レ点を付けてください。

【5 申請の状況について】

(1) 次の4点を確認の上、口にレ点を付けてください。

<input checked="" type="checkbox"/>	この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
<input checked="" type="checkbox"/>	この申請書に虚偽の記載があった場合は、東京都の求めに従いその全額を即時返還します。
<input checked="" type="checkbox"/>	私は東京都以外の道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。
<input checked="" type="checkbox"/>	この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高

必ず内容を確認の上、レ点を付けてください。

(2) 以下の内容を確認の上、口にレ点を付けてください。

<input checked="" type="checkbox"/>	私の世帯は、申請日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助を受けていません。
-------------------------------------	--